



2018年4月24日

報道関係者各位

慶應義塾

福澤先生ウェーランド経済書講述記念講演会 開催 (5月15日)

「日本銀行・元審議委員からみた金融緩和の光と影」

(白井さゆり 慶應義塾大学 総合政策学部教授)

慶應義塾では、「福澤先生ウェーランド経済書講述記念日」である5月15日(火)に下記のとおり講演会を開催します。

慶応4年5月15日(1868年7月4日)、戊辰戦争のさなか、上野で官軍と彰義隊の戦闘が行われ、砲声殷々として江戸市中に響きわたる中、福澤諭吉は芝新銭座の慶應義塾において、悠然と土曜日の日課である『ウェーランド*経済書 (*The Elements of Political Economy*, 1866)]の講義を続けていました。

慶應義塾では、世の中にいかなる変化があっても、学問教育を尊重した福澤の精神を長く伝えるために、5月15日を「福澤先生ウェーランド経済書講述記念日」とし、1956(昭和31)年より記念講演を行っています。

本年は、「日本銀行・元審議委員からみた金融緩和の光と影」と題し、白井さゆり慶應義塾大学総合政策学部教授が講演いたします。つきましては、イベント欄への掲載および、当日のご取材のほどよろしく願いいたします。

※フランシス・ウェーランド (1796-1865 米国ブラウン大学 第4代学長)

1. 開催概要

日時: 2018年5月15日(火) 14時45分~16時15分(開場14時00分)

講演者: 白井さゆり(しらい さゆり) 慶應義塾大学 総合政策学部教授

演題: 「日本銀行・元審議委員からみた金融緩和の光と影」

講演概要: 日本経済は、世界景気、オリンピック特需、異次元緩和に支えられ景気が拡大する局面にある。それらの要因が剥落すれば本来の成長力に戻っていく。その時慌てるのではなく、日本経済の行く末について率直に向き合い、今から備えていく必要がある。アベノミクスの成果も大きい、課題も残る。正しく現状をみつめ今後の日本をどうしたいのか国民一人一人が向き合う時期にある。白川前総裁・黒田現総裁のもとで5年間金融政策を実践し、15以上の海外主要中央銀行での講演や率直な政策議論を行った体験をもとに、金融緩和と日本経済の先行きについて語る。

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 三田演説館(重要文化財)

※三田演説館内は本講演会開催時など、限られた日にのみ入館できます。

交通: 東京都港区三田 2-15-45 JR 山手線・京浜東北線 田町駅下車(徒歩約8分)

都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅下車(徒歩約7分)

都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車(徒歩約8分)

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

2. 講師プロフィール

白井 さゆり (しらい さゆり) 慶應義塾大学 総合政策学部教授

経歴・役職等：

慶應義塾大学総合政策学部教授。アジア開発銀行客員研究員を兼任。1993年コロンビア大学・経済学博士 (Ph. D)。1993～98年国際通貨基金 (IMF) エコノミスト、その後、慶應義塾大学総合政策学部助教授、教授。2007～08年仏・パリ政治学院客員教授、2011～16年日本銀行政策委員会審議委員、16年4月慶應義塾大学総合政策学部特別招聘教授。2016年9月より現職。海外英語番組「ブルームバーグライブTV」、テレビ東京「モーニングサテライト」、BS11「寺島実郎の未来先見塾」、NHKマイあさラジオ「社会の見方・私の視点」では定期的に、そのほか国内外の多数メディアで世界・日本の金融政策や経済について解説。週刊エコノミストの書評担当。

主要著書：

『東京五輪後の日本経済』(小学館、2017)

『超金融緩和からの脱却』(日本経済新聞出版社、2016)

『ユーロ・リスク』(日本経済新聞出版社、2011)

【昨年度の講演会の様子】



*ご取材の際には、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

*本資料は文部科学記者会、各社社会部・文化部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 (並木)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/>